



沸き起こる歓声! 水泳授業開始

水泳授業の開始です。この日を待ちわびたとばかりに、子どもたちははじけるような笑顔と、はしゃぎまくる姿を存分に披露してくれました。

令和2、3年度の2年間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校では水泳授業は中止。前年度の令和4年度から3年ぶりに水泳授業が復活し、本年度は授業回数を増やし実施していくこととなりました。



さて、待ちに待った水泳授業。準備運動を済ませ、いざシャワーへ。「キャー!」「冷たい!」と湧き上がる歓声がプールサイドに響き渡り、夏の学校風物詩



のひとつが戻ってきました。続いてお待ちかねの入水。子どもたちの表情からワクワク感とドキドキ感が見ている私にもストレートに伝わってきました。プールサイドでのバタ足や水かけっこ、水中ジャンケン、水中ダンス、流れるプールなどの水慣れや水遊びを十分に楽しんでいました。

来週からの指導では、着衣水泳も予定されています。着衣水泳は、普段の服を着たまま入水する水泳の授業ですが、保護者の皆さんの中にも小学校時代に経験された方はいらっしゃるのではないのでしょうか。



通常の水着での水泳授業では体験できない「非常時」を体験することで、いざというときに落ち

着いて対応できるようにすることを学ぶのが目的で、全学年が発達の段階に応じて着衣水泳体験を重ねていきます。

夏休み前に、水への恐怖心を取り払いながら子どもたちの水難事故防止を図れるよう取り組んでいきたいと思います。

生オーケストラ 見て、聴いて、感じて・・・

6月28日(水)に5年生の『芸術鑑賞会』がよこすか芸術劇場で行われました。オーケストラの魅力子どもたちに体験してもらうために、教育委員会が市内の小学5年生を対象に、30年近く行っているイベントです。この日は市内12校の学校が参加してきました。

指揮者は、世界中を舞台に活躍している飯森範親さんで、なんと追浜高校の卒業生だそうです。演奏は神奈川県全域をはじめ、全国各地で幅広い活動を続けている『神奈川フィルハーモニー管弦楽団』。プロフェッショナルによる生の演奏、有名な指揮者など子どもたちがわくわくするような条件がそろっています。

プログラムはミッキーマウスマーチのアレンジ曲や誰もが一度は耳にしているCMでおなじみの曲が次々に演奏されました。楽器の音色に注目して聴いてみると、迫力あるメイ

ンテーマを奏でる楽器あり。美しいメロディで飾りつけするようなパートあり。意外に存在感を見せつけてくれる楽器あり。がっちりと旋律を支える楽器あり。心地よく、時には力強くリズムを刻

む楽器あり・・・。一つ一つに個性を持っている楽器の融合が何とも言えず心に染みわたりました。

後半は「横須賀市歌」を参加児童全員で歌い、あっという間の一時間が過ぎ去りました。参加した5年生は会場の関係者にしっかりとあいさつができ、マナーよく鑑賞し芸術劇場を後に

しました。7月24日に迫ったキャンプまでに、さらなる成長を期待したいと思います。

